

私ども、らく楽福祉グループでは、香川県下において有料老人ホームはじめグループホーム、介護老人保健施設などの介護関連事業を17事業、
クリニックなどの医療関連事業を2事業、その他1幼稚園と8保育園を運営しております。

全国介護事業者連盟 本部及び四国支部より多大なるご支援とご指導を賜わり、無事に設立することができました。ここに改めて、加盟事業所を代表いたしまして厚く感謝申し上げます。

さて、香川県支部は、現在では118の事業所が加盟されるまでになっています。ご承知のように、現在、介護業界を取り巻く環境は厳しさを増してきており、今後の介護保険制度においても厳しい改定が予測されています。

現在の介護業界は、各サービスの団体が多数存在しており、約210万人と言われる介護職員は、各団体に細分化されて活動を行っている状況であり、従来の発想を超える改革が今こそ求められています。
業界全体が一団となり、現在の取り巻く環境の厳しさを打破すれば、更なる発展の可能性が広がるのではないのでしょうか。

香川県支部も現状を念頭において、一般社団法人全国介護事業者連盟と共に今後の介護業界の発展のために、微力ながら尽くしていくことをお約束いたします。

佐藤 由加利（さとう ゆかり）
社会福祉法人 らく楽福祉会 副理事長
医療法人社団 らく楽会 理事

◆「鹿児島県支部 年次総会・障害福祉事業部会 鹿児島県支部 設立総会」を開催いたします（2023年2月22日）
<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/kagoshima20230222/>

◆「栃木県支部・障害福祉事業部会 栃木県支部 合同設立総会セミナー」を開催いたします（2023年3月3日）
<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/tochigi20230303/>

◆全国介護事業者連盟 東京都支部主催 ZOOM オンライン無料セミナー（2023年2月17日）
地域特性を生かした新たな介護の情報発信～ゆずがチャレンジし続ける意味とその効果～
<http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/tokyo20230217/>

◆訪問介護+通所介護の複合型新サービス創設のゆくえ～無料オンラインセミナー～
主 催：株式会社EMシステムズ
日 時：2月24日（金）16:00～17:00
講 師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行
お申し込みはこちらからお願いいたします
https://zoom.us/webinar/register/7916735815417/WN_5AQGx4FhQmmq9T_z6Bey_g

◆「通所+訪問」でどう変わるか 大変革の報酬改定を見据えた経営セミナー
主 催：株式会社L I F U L L s e n i o r
参加費：無料
日 時：2月21日（火）13:00～14:30

開催方法：オンライン

<https://forms.gle/3TZE74q1tuDZ6fzKA>

◆日本デイサービス協会が選ぶ、2023 年デイサービス 5 選 発表 ※ついに 5 選が決まる！！

2023 年 3 月 15 日（水）18:30～

事前観戦登録はこちらから↓

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_u3cpYS_zQoSH4-wtFmiAZw

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

YouTuber まちゃぴろ特別対談 魅力溢れる介護へ新しい仕掛け

<https://www.youtube.com/watch?v=iz4DolMveqs>

障害者グループホーム 運営推進会議の開催が義務化？

<https://www.youtube.com/watch?v=viT7QxewyRY>

処遇改善関連加算 計画書と実績報告書 書式が大幅に簡素化

<https://www.youtube.com/watch?v=x8mUAcTmYEQ>

24 年介護報酬改定に向けた令和 5 年度改定検証を読み解く

<https://www.youtube.com/watch?v=nfytPsreoXI>

令和 4 年度調査 介護事業収支差率の最新データが公表 0.9%の悪化

<https://www.youtube.com/watch?v=rIJn0je6qwk>

【全国介護事業者連盟動向】

2 月 1 日 青森県支部・奈良県支部・障害福祉事業部会 千葉県支部・福岡県支部の設立

http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/02/press_kaiziren20230203.pdf

2 月 1 日 第 8 回 科学的介護推進委員会の開催（東京都 オンライン）

2 月 2 日 障害福祉事業部会 千葉県支部幹事会の開催（オンライン）

2 月 2 日 第 29 回 常任理事会の開催（東京都 オンライン）

2 月 2 日 愛媛県支部幹事会の開催（オンライン）

2 月 2 日 第 16 回 全国介護事業者政治連盟 役員会の開催（東京都 オンライン）

2 月 2 日 厚生労働省『地域の特性に応じた訪問介護サービスの提供体制のあり方に関する調査研究事業』第 2 回検討委員会に理事長が出席（東京都）

2 月 3 日 厚生労働省『標準仕様を活用したケアプランデータ連携活用促進のための調査研究』第 2 回検討委員会に理事長が出席（東京都）

2 月 3 日 第 3 回 通所サービス在り方委員会の開催（東京都 オンライン）

2 月 3 日 第 3 回 訪問サービス在り方委員会の開催（東京都 オンライン）

2 月 6 日 厚生労働省『障害児通所支援に関する検討会』第 9 回検討委員会に障害福祉事業部会 中川 亮 会長が出席（オンライン）

2 月 6 日 障害福祉事業部会 福岡県支部幹事会の開催（オンライン）

2 月 7 日 第 3 回 地域密着型サービス在り方委員会の開催（東京都 オンライン）

2 月 9 日 第 3 回 施設、宿泊サービス在り方委員会の開催（東京都 オンライン）

2月10日 第13回障害福祉事業部会 正・副役員会の開催（オンライン）

厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

第9回「障害児通所支援に関する検討会（オンライン開催）」資料

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=E_dd87F22LVpgk-BY

「人口動態統計月報（概数）」令和4年9月分

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=5w0rahaKduXBRGJ1Y>

第36回社会保障審議会介護給付費分科会介護事業経営調査委員会（web会議）資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30674.html

介護・障害福祉ニュース

習い事も合理的配慮を 障害児通所支援検討会が報告書素案

https://www.kyobun.co.jp/news/20230207_02/

介護事業所の各種届出、新システム使用を2024年度から原則化 厚労省方針

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6461/>

L I F E情報 自治体等でも共有を 厚労省WG 全国情報基盤の活用議論

<http://www.silver-news.com/ps/qn/guest/news/showbody.cgi?CCODE=12&NCODE=4297>

介護事業者の経営、どう変わった？ 厚労省が5月に実態調査 報酬改定に反映へ

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6429/>

コロナ禍の介護施設の面会、どうすれば… 厚労省、オフィシャル動画でノウハウを解説！

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6315/>

季節性インフルエンザ、流行が全国で「注意報」レベルに 3年ぶり 厚労省

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6354/>

通所介護の収支が悪化 コロナ禍や人件費増が影響 利益率が低下＝厚労省調査

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6290/>

介護事業者の休廃業・解散が過去最多に 倒産も含め600社超が市場から退出

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6040/>

2022年の介護事業者 休廃業・解散が過去最多、コロナ感染防止の利用控えや物価高が直撃

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20230127_01.html

【令和5年度東京都予算概要】要介護度等の維持改善に向けた介護事業者の取組促進【福保】 2億円（新規）
科学的介護*の実現を目指し、導入の意義やメリット等を周知するとともに、要介護度等の維持・改善に資する取組を行った事業所に対し、都独自に報奨金を支給することにより、自立支援・重度化防止の取組を促進

◆ 科学的介護の定着促進

科学的介護の定着・促進に向けて、導入の意義やノウハウ、メリットなどについて、講演会の開催や動画配信を実施

◆ 要介護度等の改善促進

利用者のADL（日常生活動作）、要介護度の維持・改善を達成した事業所に報奨金を支給に基づく介護

①基礎分 → ADL維持等加算算定 20万円

②加算分 → 要介護度の維持の場合 +10万円

要介護度の改善の場合 +20万円



編集後記

「自社のペーパーレス化は十分」は2割 介護業界の業務効率化が進まない理由とは

先日、ある会社が介護事業経営者を対象にした「ペーパーレス化実態調査」の結果を発表しました。

それによると「自社のペーパーレス化は十分である」という回答は20%以下に留まっています。

介護業界でペーパーレス化（業務のICT化）が進まない理由には、一般的には「システム導入の予算が無い」「現場の理解・協力が得られにくい」などが多いとされます。この調査では「現状の業務で手一杯で、ペーパーレス化を進める余裕がない」が1位となりました。

確かにペーパーレス化には、現場スタッフ、または利用者などにシステムの操作方法を説明するなどの手間を要します。

また、慣れるまでには誤操作などのトラブルも多く、一時的に業務量が増える可能性もあります。

しかし、それを理由にしていれば、いつまでも業務効率化には取り組めません。そうした「生みの苦しみ」を受け入れる長期的な視野に立った経営も必要になってくるのではないのでしょうか。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル 4階

TEL：03-5215-5063 FAX：03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp